

育成幼稚園 3月園だより

決して言わない

えんちよう こうち たかし
園長 高地 敬

子どもは生まれてからだいたいずっとお母さんと一緒にいて、幼稚園に入って初めて別々になったという方もあると思います。毎日ほんの数時間ですが、母と子がそれぞれの時間をすごします。子どもはお母さんがその間どうしていたか、ほとんど興味がないと思いますが、お母さんにとっては子どもが幼稚園でどうしていたか気になります。つらいことはなかったか、お友達と仲良くしていたか。子ども幼稚園でのことを一所懸命お母さんにお話しするのだと思います。ただ、すべてを話すことはできないし、気持ちを適切な言葉を使って表現することもできません。でも、お母さんはうれしく熱心に聞こうとします。

その後、子どもはある年齢に達したら、お母さんに話さないであえて黙っていることがあるようになります。ある本にこんな事例が出ています。

『学校まで決まった道を決まった時間で行って帰ってくる子どもが、ある日ほんの5分遅く帰って来たのでお母さんは心配して、なぜ遅かったのか根掘り葉掘り聞こうとします。子どもにとったら、ちょっと寄り道して花か虫を眺めていて、それを自分だけのこととして大切にしておきたかった。でも、お母さんに問い詰められてしまった。』

まれにですが、こういうことがあるようです。あえて言わないこと、これが「秘密」で、子どもの成長のために欠かせないものです。大人の私たちにはたくさんの秘密があります。信頼できる人に話すこともあります。誰にも決して話さない秘密もあります。これが人に全部知られてしまったら自分が自分でなくなってしまう。人にある程度は打ち明け、子どもも含めて人が黙っていることについては詮索しない。多分大事なことなのだろうと思います。